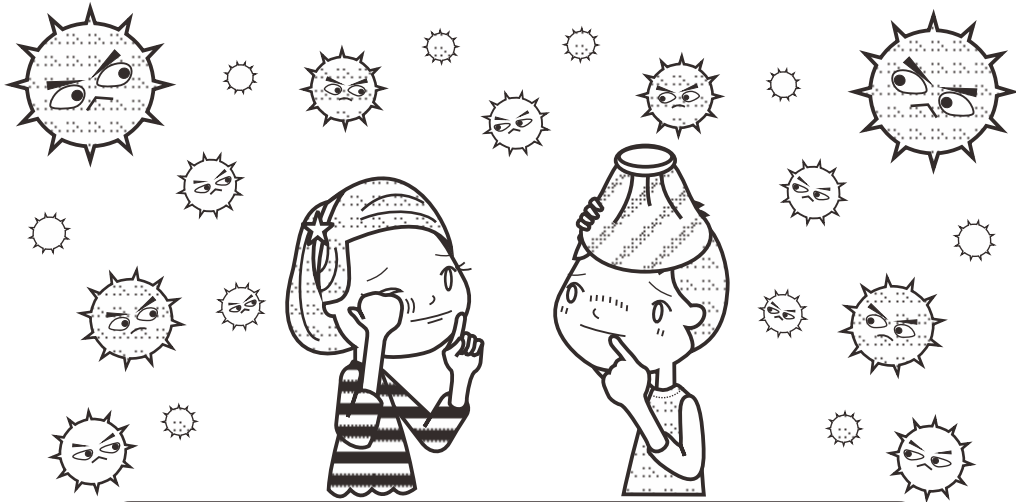


# こどもの病氣

～夏に流行る感染症～



宣言

明るい  
笑顔

すぐ  
返事

伝える  
元気

かちどき薬品 ホームページ  
げんき君

健康に関する情報がいっぱい

<http://www.genki1616.co.jp>

かちどき薬品グループ



かちどき薬局のブログ

[ameblo.jp/kachidoki-blog](http://ameblo.jp/kachidoki-blog)

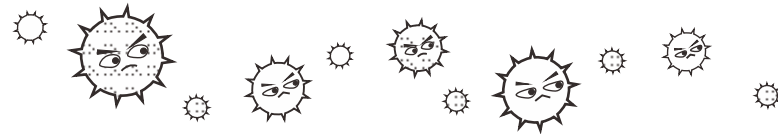


Seedling 2017 5月号

Copyright © 2017 かちどき薬品株式会社 <http://kachidokikk.co.jp/>  
健康情報サイト げんき君 <http://genki1616.co.jp>

# こどもがかかりやすい 夏に流行る感染症

夏はこどもがかかりやすい感染症が流行します。  
プールやお祭りなど人が多く集まる場所に行く時は、十分な注意が必要です。



## どうして流行る？

- 高温多湿の環境を好むウイルスや細菌が活発化する
- 暑さと食欲不振で体力を消耗し、免疫力が低下しやすい
- 感染力が強く、幼稚園や保育園で流行しやすい



こどもを感染症から守るため  
症状や対処法を知っておきましょう。



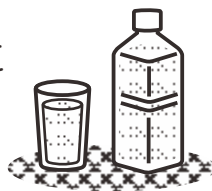
# 溶連菌感染症

1年で「冬」と「春から夏にかけて」の2回ピークがあります。4～10歳がかかりやすく、免疫力が低下している大人や妊婦さんも感染する場合があります。

<b>症 状</b>	・38～39℃の発熱 ・のどの腫れや痛み ・イチゴ舌・体や手足の赤い発疹
<b>潜伏期間</b>	2日～1週間
<b>感染経路</b>	飛沫感染(咳やくしゃみなど)
<b>注 意</b>	抗生剤の使用を途中でやめると、 リウマチ熱や急性糸球体腎炎などの 合併症を引き起こす可能性があるため、 処方された薬は必ず飲みきる
<b>登園・登校</b>	学校保健安全法では制限なし 目安は全身状態が良好で、抗生剤服用後 24～48時間経過していること 医師に相談し登園・登校させる

## かかってしまったら

- ・のどに強い痛みがある場合でも水分補給を十分に行う
- ・食事はのどごしがよく消化のよいものに
- ・熱がなければ入浴できるが、発疹が出ているとかゆみが強くなるため温めすぎない
- ・肌をかいて傷つくのを防ぐため爪は短く切る



# ヘルパンギーナ

主に5歳以下の乳幼児に発症しやすく、夏に流行するエンテロウイルスによって引き起こされます。夏風邪の代表的な疾患です。

<b>症 状</b>	・38℃以上の発熱・のどの痛み ・口内やのどの奥に水疱ができる ・高熱が続くと倦怠感や関節痛が起きる
<b>潜伏期間</b>	2日～1週間
<b>感染経路</b>	・糞口感染(便を介した感染) ・飛沫感染(咳やくしゃみなど)
<b>注 意</b>	長期間の発熱や頭痛がある場合は、 髄膜炎を併発している可能性があるため すぐに受診する
<b>登園・登校</b>	学校保健安全法では制限はなし 目安は発熱や口内の水疱の影響がなく 普段の食事が摂れること 医師に相談し登園・登校させる

## かかってしまったら

- ・脱水に注意し、こまめに水分補給をして安静にする
- ・のどや口内に水疱ができると飲み込むごとに痛みが生じるため、食事はのどごしのよいものにする
- ・おかゆ、うどん、ゼリーなどがおすすめ



# 手足口病

5歳以下の乳幼児がかかりやすく保育園や幼稚園で流行します。ヘルパンギーナと同じくエンテロウイルスが原因で発症します。

<b>症 状</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・37～38℃の発熱(熱がないこともある)</li> <li>・口内や手のひら、足の裏に水疱ができる その他、おしりやひざ裏など全身にできる場合も</li> </ul>
<b>潜伏期間</b>	2～5日
<b>感染経路</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糞口感染(便を介した感染)・接触感染</li> <li>・飛沫感染(咳やくしゃみなど)</li> </ul>
<b>注 意</b>	自然に治まることが多いが、高熱が続く、嘔吐するなど異変がある場合は、髄膜炎を併発している可能性があるためすぐに受診する
<b>登園・登校</b>	学校保健安全法では制限はなし 目安は発熱や口内の水疱の影響がなく 普段の食事が摂れること 医師に相談し登園・登校させる

## かかってしまったら

- ・ヘルパンギーナと同様、こまめに水分補給をし食事はのどごしのよいものにする
- ・手足の水疱がつぶれると細菌感染が起こるためできるだけ水疱をつぶさない
- ・かゆみがひどい場合は保冷剤などで冷やす

# 咽頭結膜熱(プール熱)

アデノウイルスによって引き起こされる感染症で、プールの水を介して感染することがあります。保育園や幼稚園、小学校でのプールが多くなる頃に気をつけたい病気です。

<b>症 状</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・39℃以上の発熱が3～4日続く</li> <li>・のどの腫れや痛み</li> <li>・結膜炎・目の痛みやかゆみ・目やに</li> </ul>
<b>潜伏期間</b>	5～7日
<b>感染経路</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛沫感染(咳やくしゃみなど)</li> <li>・タオルの共有、プールの水が目や口に入るなどの接触感染</li> </ul>
<b>注 意</b>	リンパ節の腫れや倦怠感、下痢や腹痛を起こす場合もある 吐き気や頭痛、咳がひどい時は早めに受診する
<b>登園・登校</b>	主な症状が消失し、2日経過してから (症状により医師が感染の恐れがないと認めるまで)

## かかってしまったら

- ・手で目をこすらない
- ・安静にし、水分補給を十分に行う
- ・食事は刺激が少なく、かまずに飲み込めるもの  
のどごしのよい冷たい飲みものやゼリー、うどん、おかゆがおすすめ



# 流行性角結膜炎

一般的に「はやり目」と呼ばれています。咽頭結膜熱と同じくアデノウイルスが原因で1～5歳の幼児にかかりやすいとされていますが、成人も含めて幅広い年齢がかかります。

<b>症 状</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>結膜のむくみ、充血</li> <li>まぶたのむくみ</li> <li>さらさらした目やに、涙</li> <li>まぶしさを感じる</li> </ul>
<b>潜伏期間</b>	1～2週間
<b>感染経路</b>	手やタオル、プールの水などを介した接触感染
<b>注 意</b>	咽頭結膜熱よりも感染力が強く、リンパ節の腫れや倦怠感、下痢や腹痛を起こす場合もある
<b>登園・登校</b>	結膜炎の症状が消失してから(症状により医師が感染の恐れがないと認めるまで)

## かかってしまったら

- 手で目をこすらない
- 安静にし、水分補給を十分に行う
- 涙や目やには清潔なタオルやティッシュペーパーなどで拭く
- 家庭内感染を防ぐためタオルの共用は避け、入浴の順番は最後にする



# かからないために

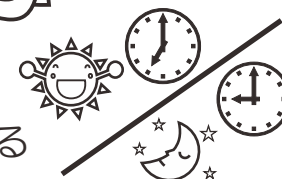
## ～普段から予防対策を～

- **うがいと手洗いを習慣に**  
こまめに行い、ウイルスや細菌をよせつけない



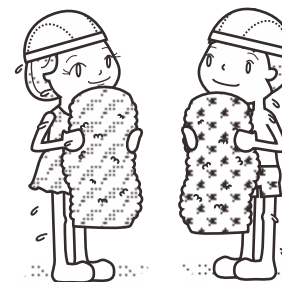
- **規則正しい生活**

免疫力を落とさないように注意  
3食しっかり食べて、睡眠を十分にとる



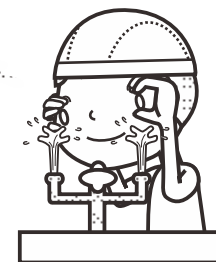
- **タオルの共用をしない**

特に水泳時はタオルの貸し借りをしないように注意



- **水泳の前後には**

**必ずシャワー、洗眼**



- **排せつ物の処理を適切に**

おむつ交換を行う時は、中の便が飛び散らないように速やかに包み込み処理をする  
交換が終わったら、必ず手を洗う

